



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大水

コード番号 7538 URL <http://www.daisui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 真部 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長兼総務広報部長 (氏名) 小田 幸一

TEL 06-6469-3000

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	62,435	3.0	△26	—	53	—	38	—
25年3月期第2四半期	60,622	△6.1	△109	—	△65	—	△806	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 125百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △890百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.83	—
25年3月期第2四半期	△58.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	19,661	4,179	21.3
25年3月期	19,313	4,053	21.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,179百万円 25年3月期 4,053百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00			
26年3月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の配当の見直しにつきましては、期末配当は未定とさせていただきます。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	2.4	270	9.8	340	△4.4	250	—	18.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	13,774,819 株	25年3月期	13,774,819 株
26年3月期2Q	43,301 株	25年3月期	40,605 株
26年3月期2Q	13,732,436 株	25年3月期2Q	13,735,961 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安により輸出関連企業に景況感の改善が見られた他、公共投資や住宅投資も増加傾向にある等、景気回復の兆しが見え始めました。

当水産流通業界におきましては、消費に持ち直しの動きが見られたものの、本格的な回復には至っておらず、魚介類の荷動きが低調に推移しました。また、卸売市場経由率が低下傾向にあるなか市場外流通事業者との競争が続く等、厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が624億35百万円（前年同期比3.0%増）となり、利益面では営業損失は26百万円（前年同期は1億9百万円の営業損失）となりましたが、営業外収益に受取配当金を29百万円、貸倒引当金戻入額を29百万円計上したこと等により、経常利益は53百万円（前年同期は65百万円の経常損失）となりました。また、特別利益に投資有価証券売却益を46百万円計上しましたが、法人税等を58百万円計上したこと等により、四半期純利益は38百万円（前年同期は8億6百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

水産物販売事業における売上高は塩干冷凍品の一部の魚種で苦戦しましたが、鮮魚は順調に推移し、また新設子会社（株式会社大分水産）が寄与したこと等により623億45百万円（前年同期比3.0%増）となりました。営業利益は売上総利益率の向上や貸倒引当金繰入額の減少等により32百万円（前年同期は51百万円の営業損失）となりました。

冷蔵倉庫等事業における売上高は在庫量の減少等により1億30百万円（前年同期比2.1%減）となりましたが、販売費及び一般管理費の削減により営業利益は4百万円（前年同期比193.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べて3億48百万円増加し、196億61百万円となりました。これは現金及び預金が3億41百万円、受取手形及び売掛金が3億93百万円減少する一方、商品及び製品が9億14百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べて2億22百万円増加し、154億82百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が6億82百万円が減少する一方で、短期借入金が10億円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べて1億25百万円増加し、41億79百万円となりました。これは四半期純利益を38百万円計上するとともに、その他有価証券評価差額金が87百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、18億32百万円（前連結会計年度比3億41百万円減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産が9億14百万円増加し、仕入債務が6億89百万円減少したこと等より13億63百万円の支出（前年同期比6億13百万円増）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入等により38百万円の収入（前年同期比26百万円増）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加等により9億82百万円の収入（前年同期は4億8百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月15日付の「平成25年3月期 決算短信」にて公表いたしました予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,243	1,902
受取手形及び売掛金	9,835	9,442
有価証券	43	43
商品及び製品	1,390	2,305
繰延税金資産	70	66
その他	152	223
貸倒引当金	△76	△68
流動資産合計	13,661	13,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	766	732
土地	2,410	2,410
その他（純額）	192	212
有形固定資産合計	3,369	3,354
無形固定資産	228	225
投資その他の資産		
投資有価証券	1,939	2,046
長期貸付金	295	293
破産更生債権等	1,852	1,548
固定化営業債権	883	879
繰延税金資産	25	27
その他	57	64
貸倒引当金	△3,000	△2,691
投資その他の資産合計	2,054	2,166
固定資産合計	5,652	5,747
資産合計	19,313	19,661

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,723	7,040
短期借入金	3,000	4,000
未払金	477	476
未払法人税等	85	45
賞与引当金	136	143
その他	262	244
流動負債合計	11,685	11,950
固定負債		
退職給付引当金	2,608	2,481
役員退職慰労引当金	131	143
再評価に係る繰延税金負債	303	303
繰延税金負債	129	195
その他	400	407
固定負債合計	3,573	3,531
負債合計	15,259	15,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,352	2,352
資本剰余金	2,012	497
利益剰余金	△926	627
自己株式	△18	△18
株主資本合計	3,420	3,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	438	525
土地再評価差額金	195	195
その他の包括利益累計額合計	633	720
純資産合計	4,053	4,179
負債純資産合計	19,313	19,661

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	60,622	62,435
売上原価	57,705	59,352
売上総利益	2,916	3,082
販売費及び一般管理費	3,026	3,109
営業損失(△)	△109	△26
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	39	29
受取賃貸料	66	67
天然ガス売却額	36	37
貸倒引当金戻入額	—	29
その他	6	17
営業外収益合計	150	181
営業外費用		
支払利息	29	21
賃貸費用	33	38
天然ガス売却原価	40	37
その他	1	3
営業外費用合計	106	101
経常利益又は経常損失(△)	△65	53
特別利益		
投資有価証券売却益	22	46
特別利益合計	22	46
特別損失		
投資有価証券売却損	17	1
投資有価証券評価損	88	0
減損損失	627	—
特別損失合計	734	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△776	97
法人税、住民税及び事業税	55	35
法人税等調整額	△25	22
法人税等合計	29	58
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△806	38
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△806	38

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△806	38
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84	87
その他の包括利益合計	△84	87
四半期包括利益	△890	125
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△890	125
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△776	97
減価償却費	76	68
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5	6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△39	△127
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	53	△316
受取利息及び受取配当金	△40	△30
支払利息	29	21
投資有価証券評価損益(△は益)	88	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△4	△45
減損損失	627	—
売上債権の増減額(△は増加)	434	694
たな卸資産の増減額(△は増加)	△99	△914
その他の資産の増減額(△は増加)	8	△1
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,061	△689
その他の負債の増減額(△は減少)	△39	10
未収消費税等の増減額(△は増加)	10	△57
未払消費税等の増減額(△は減少)	17	△23
その他	0	0
小計	△717	△1,291
利息及び配当金の受取額	40	30
利息の支払額	△25	△23
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△48	△78
営業活動によるキャッシュ・フロー	△749	△1,363
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△35	△70
定期預金の払戻による収入	20	70
投資有価証券の取得による支出	△3	△44
投資有価証券の売却による収入	65	115
有形固定資産の取得による支出	△26	△32
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	1	9
その他	△9	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	12	38
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	63	1,000
長期借入金の返済による支出	△450	—
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△0
リース債務の返済による支出	△22	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△408	982
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,145	△341
現金及び現金同等物の期首残高	2,676	2,173
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,530	1,832

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

当第2四半期連結累計期間において、土地の再評価に関する法律(平成10年3月31日公布法律第34号)による再評価を行った土地について減損損失を計上し、当該土地にかかる土地再評価差額金の取崩を行いました。この影響により利益剰余金が1,035百万円減少いたしました。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社は平成25年5月15日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づく定款の定めにより、下記のとおり資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分について決議しました。

1. 資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

繰越利益剰余金の欠損を填補し、今後の資本政策の柔軟性と機動性を確保することを目的として、資本準備金並びに利益準備金の額を減少し、剰余金の処分を行いました。

2. 資本準備金及び利益準備金の額の減少の要領

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の一部及び利益準備金の全額を減少させ、それぞれその他資本剰余金及び繰越利益剰余金に振り替えました。

(1) 減少する準備金の項目及び額

資本準備金 2,012,649,694円のうち 1,515,233,882円

利益準備金 340,000,000円のうち 340,000,000円(全額)

(2) 増加する剰余金の項目及び額

その他資本剰余金 1,515,233,882円

繰越利益剰余金 340,000,000円

(3) 効力発生日

平成25年5月15日

3. 剰余金の処分の要領

上記振り替えの後、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金及び別途積立金の全額を減少させ、繰越利益剰余金に振り替えることにより、同額の欠損填補に充当しました。

(1) 減少する剰余金の項目及び額

その他資本剰余金 1,515,233,882円

別途積立金 5,685,290,458円

(2) 増加する剰余金の項目及び額

繰越利益剰余金 7,200,524,340円

(3) 効力発生日

平成25年5月15日

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	60,531	90	60,622	—	60,622
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	42	42	△42	—
計	60,531	133	60,664	△42	60,622
セグメント利益又は損失 (△)	△51	1	△49	△59	△109

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△59百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

水産物販売事業において、627百万円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,345	89	62,435	—	62,435
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	41	41	△41	—
計	62,345	130	62,476	△41	62,435
セグメント利益又は損失 (△)	32	4	37	△63	△26

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△63百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結累計期間から、報告セグメントとしていなかった冷蔵倉庫等事業について重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。